

母子同室制に関する研究

—妊娠中及び産後の意識調査の比較—

分担研究者：高 橋 悅二郎（愛育会総合母子保健センター）
研究協力者：宮 崎 叶（東京金属健保組合健康管理センター）
堀 貞夫（愛育病院）
藤 仁（都立築地産院）
井 野 武博（愛育研究所）
網 千賀 悠子（” ”）

研究目的

昭和55年度に於て、母子同室制の実態調査を行い、昭和56年度は妊婦の意識調査、特に母子同室制についてどのような意識をもっているのか調査した。初産経産別、東京と地方に分け、1,031例の回答について、クロス集計をとりながら調査した。

その結果母子同室を望む人は、初産でも経産でも東京でも地方でも、出産直後からわが子と一緒にいたいと希望する者が多く、子ども好きであり、多少苦しくても自然分娩を望む者が多くみられた。

これに対して母子同室を余り希望しない、或は別室を望む人は、夫々20.9、29.2%は子どもは好きでないと答え、わが子とは入院中時々あればよいと回答し、その多くが無痛分娩を希望していた。

そこで本年度は、前年度調査した妊婦の意識が、出産を経験し、その後意識がどう変ったか、母子同室、異室によってどのような違いが出るか調査した。

調査対象および方法

本年度調査の対象としたのは、東京の愛育病院と築地産院に於て、妊娠中と出産後6カ月迄にペアで調査出来たもの357例である。（愛育病院240例、築地産院117例）その中妊娠中母子同室希望で産後も同室を経験した124例（初産89例、経産35例）、異室希望で異室であったもの72名、全体合計196名についての調査について述べる（表1）。

なお妊娠中のアンケートの設問は合計36問、分娩後の設問は28問、それぞれ4～5の選択肢を設け、あてはまる項目に○印をつけて貰った。こゝでは設問の総べてに対する結果でなく、主として

意識調査の上で母子同室と別室でやゝ差がありと認められたものについて述べる。

調査結果

Ⓐ 分娩後のアンケート調査で次の様な問い合わせし、表(2)の様な結果を得た。

問 分娩予定日が近づいた頃、どのような分娩方法を望んでいましたか。

- 薬物による無痛分娩を望んだ
- 薬物によらない無痛分娩を望んだ
- 自然分娩を望んだ
- 病院などの方針にまかせようと思った。

初産では自然分娩を望んだのは同室に多く、薬物による無痛分娩を望んだ人の割合が異室の方に有意に多くなっていた。経産でも同様の傾向がみられた。

Ⓑ お産の時の感じはどうでしたか。

- 非常に楽だった
 - どちらかというと楽だった
 - どちらかというとつらかった
 - 非常につらかった
- という設問に初経産ともに“つらかった”と感じた人の割合が異室の方に多い傾向がある。

初産：同室 57% 経産：同室 43%

異室 66% 異室 49%

異室の方がお産をつらいものを感じているように思える。

Ⓒ 入院中の母親と児の接觸に対する次の様な問い合わせし

問 入院中赤ちゃんとどのように過ごしましたか。

- 出来るだけ早くから一緒にいるようにした
- 自分の体調がよくない時をのぞいて大体一

一緒にいた

3. 授乳の時など、必要な時だけ一緒にいた
4. 病院の方針や赤ちゃんの状態などのため、一緒にいる事が出来なかった。
5. 病院にまかせて、自分のほうから特に会う事はしなかった

初経産とともに、同室だった人は当然の事ながら児とよく接触している。又“とくに会う事をしなかった”ものの割合は異室の方に多い傾向がある。

初産：同室 5% 経産：同室 6%
異室 7% 異室 8%

⑩ 栄養法はどのようにしてきましたか。a, b, c、各期ごとにお答え下さい。（赤ちゃんの月齢が下記の時期に達していない場合は、お答えくださいなくして結構です）

a、生後1週間（入院中）

1. 直接母乳で
2. 自分の母乳をさく乳で
3. もらい乳で
4. 混合乳で

b、生後2～6週間

1. 母乳のみ
2. 混合乳
3. 人工乳のみ

c、生後4ヶ月

1. 母乳のみ
2. 混合乳
3. 人工乳のみ

表(3)に示すように入院中（生後1週間）は初産の場合、直接母乳のものが、同室の方に多い傾向がある。しかし、生後2～6週間、4ヶ月時では、初経産とともに異室の方が直接母乳のものの割合がやゝ多くなっている。

⑪ 問 初めの頃、乳をふくませる時赤ちゃんにどんな感じをもちましたか。

1. わが子という実感がひしひしと伝わり授乳がすんでもずっと抱いていたかった。
2. 授乳の時ぐらいはずっと抱いていたかった。
3. 他の用事があるので、授乳が早くすめばと思うことが多かった。
4. 授乳することがわづらわしく、離れていたかった。

表(4)に示すように、初産の場合、授乳が早く終

ればとか、授乳がわづらわしいと思う等、児に対して拒否的態度であったものの割合が異室の方で有意に多い。

⑫ 問 深夜疲れて眠っている時赤ちゃんがぐずったり、ひどくない場合どのようにしていますか。

1. すぐ起きて様子をみたり、あやしたりする。
2. 眠っていたり疲れているとき起きられない時もあるが、できるだけ起きて様子をみたり、あやしたりする。
3. あまり長かったり、ひどい時は起きて、様子をみたり、あやしたりする。
4. むしろ起きないようにしている。

問 赤ちゃんの排便などの処理はどのようにしていますか。

1. 何のためらいもなくしている。
2. 汚いとかいやな気持もおきるが、しなければいけないのでやっている。
3. しなければいけないと思うが、あまり手をかけないですむようしている。
4. 汚いし、いやな気持がおきるので、自分は殆ど手をかけない。

問 日常の生活で、赤ちゃんにどの程度語りかけたり言葉をかけていますか。

1. 赤ちゃんが起きている時は、ひんぱんにしている。
2. どちらかというとよくしている。
3. 赤ちゃんが声を出したり、泣いたりした時などにする程度である。
4. めったにしていない。

以上排便の処理とか、赤ちゃんに対する語りかけ、深夜の赤ちゃんの世話等に関しては、同室と異室との間に著明な差は認められなかった。しかし表(5)に示すように、経産の場合、赤ちゃんがぐずったり、泣いた場合、情況により起きるとか、むしろ起きないといったものの割合が、異室の方に多く見られた。又経産の場合、めったに語りかけをしないものの割合が異室の方で多い傾向があった。

⑬ 問 赤ちゃんを育てていて、どの様なお気持ちですか。

1. この子の為なら、何を犠牲にしてもよいと思うほどに愛情をおぼえる。
2. この子への愛情は強いが、すべてを犠牲に

してまでとは思わない。

3. どちらかというと愛情もあるが、ほかのことも大切に思う。
4. あまり愛情をおぼえない。

表(6)に見られるように、初産の場合、愛情もあるがほかの事も大切というものの割合が異室の方に多い。

⑩ 問 赤ちゃんが生まれたことで、あなたの生活はどのように変ってきましたか。

1. 非常に充実してきた。
2. どちらかというと充実してきた。
3. どちらかというと不満や満たされない気持がでてきた。
4. 非常に不満や満たされない気持が多くなった。
5. 別に以前と変わらない。

表(7)に示すように、初産の場合、不満が出てきたものの割合が異室の方で多い傾向がある。

⑪ 次に妊娠中に行った意識調査とのクロス集計をみると、表(8)表(9)に示すような結果が得られた。

即ち妊娠中、出産直後からずっと赤ちゃんと一緒にいたいと思いますかの問いに（表(8)）初経産とともに分娩後同室制にした人は、妊娠中から赤ちゃんと一緒にいたいと思って居り、異室の人は時々会えようと、必要な時会えよといっている人が有意に多くなっている。

又表(9)あなたは子ども好きですかの間に、初経産とともに、子どもは好きでない人の割合が異室の人に有意に多くなっている。

⑫ その他の設問 例えば

問 お産にそなえて何か特別のことをしましたか。（ラマーズ法、妊婦体操、妊婦水泳、その他）

問 分娩室に入られる時のお気持はどうでしたか。

問 御主人がはじめて赤ちゃんに会われた時、どんな表情をしましたか。

問 あなたは家で子どもを育てることと、社会に出て働くことのどちらを望みますか。

問 分娩直後、分娩室で赤ちゃんの肌にふれましたか。その時の感じは？

問 お産の時、ご主人はどのようにしていましたか。

問 3ヶ月以上の赤ちゃんを育てている場合、話しかけたり、笑いかけたり、ゆすったりした時、赤ちゃんはどのように応じてきますか。

問 御主人は育児にどの程度かわっていますか。

等々のアンケートに対しては、同室、異室で殆ど差は認められなかった。

結論

東京の愛育病院と築地産院に於て、妊娠中と出産後6カ月迄にペアで調査できたものの中、妊娠中母子同室希望で産後も同室を経験したもの、124例（初産89例、経産35例）異室希望で異室であったもの72名（初産35名、経産37名）合計196名について、母親の意識調査を行い、出産を経験して意識がどう変わったか、又母子同室、異室によってどのような違いが出るか調査した。

その結果妊娠中も出産後も、或は同室異室による違いは、それ程大きな変化は認められなかった。

多少同室、異室で差の認められたものとしては、次のようなことがあげられる。

母子同室群では自然分娩を望んだものが多く、薬物による無痛分娩を望んだのは異室の方が多かった。

初経産ともに異室の方がお産をつらかったを感じている。

入院中児とよく接觸するのは同室群であり、とくに会う事をしなかったものの割合は異室の方が多い。

直接母乳を与えたものは初めの1週間は同室群に多かったが、生後2～6週間、4カ月の時点では異室の方がやゝ多くなっていた。然し授乳が早く終ればよいとか、授乳がわずらわしいと思うものの割合は異室の方に多かった。

排便の処理とか、赤ちゃんに対する語りかけ、深夜の赤ちゃんの世話等に関しては、異室でやゝ語りかけが少いとか、深夜赤ちゃんが泣いた時情況により起きる等の割合がやゝ多かったが、同室、異室それ程の差は認められなかった。

その他赤ちゃんが生れた事により、日常の生活で不備が出てきたものの割合いや、赤ちゃんに対して余り愛情をもてないと、愛情もあるが他の事も大切というものの割合も異室の方で多くなっている。

更に初経産とともに分娩後同室制にした人は、妊娠中から赤ちゃんと一緒にいたいと思って居り、子ども好きであるが、異室の人は、時々会えようと

か、必要な時会えばよい、子どもは余り好きでない等、児に対して拒否的な態度を示すものが多くなっている。

(1) 母子同室 — 妊娠中の希望と実態(初経産別)

	初産 207	経産 150	T
同室希望 → 同室	89 例 43.0%	35 23.3	124
異室希望 → 異室	35 16.9	37 24.7	72
T	124 59.9	72 48.0	196

注) 対象357例中、入院時の部屋の形態が妊娠中の希望と同じだったもの196例を抽出

(2) 分娩方法の希望 — 予定日が近づいた頃(初産)

	薬物による無痛分娩	薬物によらない無痛分娩	自然分娩	病院の方針	T
同室	0	3	66 742	20 22.5	89 100.0
異室	2 5.7	1	14 40.0	18 51.4	35 100.0
T	2	4	80 645	38 30.6	124 100.0

χ^2 値 P < 0.05

(3) 生後一週間(入院中)の栄養法(初産)

	母乳	さく乳	もらひ乳	混合	その他	T
同室	65 73.0	6 6.7	3 3.4	10 11.2	5 5.6	89 100.0
異室	19 54.3	4 11.4	5 14.3	1 2.9	6 17.1	35 100.0
T	84 67.7	10 8.1	8 6.5	11 8.9	11 8.9	124 100.0

(4) 初めの頃赤ちゃんに乳をふくませる時どんな感じを持ちましたか(初産)

	ずっと抱いていたい	授乳の時は抱いていたい	授乳が早く終れば	授乳がわざらわしい	N.A.	T
同室	64 71.9	23	0	0	2	89 100.0
異室	20 57.1	11	3 8.6	1 2.9	0	35 100.0
T	84 67.7	34	3	1	2	124 100.0

χ^2 値 P < 0.05

(5) 深夜、赤ちゃんがぐずったり泣いた時どうしますか(経産)

	すぐ起きる	なるべく起きる	情況により起きる	むしろ起きない	T
同室	25 71.4	6 17.1	4 11.4	0	35 100.0
異室	20 54.1	9 24.3	7 18.9	1 2.7	37 100.0
T	45 62.5	15 20.8	11 15.3	1 1.4	72 100.0

(6) 赤ちゃんを育てていてどのようなお気持ですか(初産)

	すべてを犠牲にしてもよい	すべてを犠牲にすることはできない	ほかのことも大切	T
同室	38 42.7	49 55.1	2 2.2	89 100.0
異室	16 45.7	13 37.1	6 17.1	35 100.0
T	54 43.5	62 50.0	8 6.5	124 100.0

χ^2 値 P < 0.05

(7) 赤ちゃんが生まれたことで、あなたの生活は
変ってきましたか（初産）

	充実してきた		不満がでできた		以前と 変わらない	N. A.	T
	非常に	どちらかといふ	どちらかといふ	非常に			
同室	32 36.0	38 42.7	10 11.2	1 1.1	7 7.9	1 1.1	89 100.0
異室	10 28.6	14 40.0	7 20.0	0	4 11.4	0	35 100.0
T	42 33.9	52 41.9	17 13.7	1 0.8	11 8.9	1 0.8	124 100.0

(8) 妊娠中の意識

出産直後からずっと赤ちゃんと一緒にいたい
と思いますか（初産）

	一緒にいたい		必要な時会 えばよい	会わなく ともよい	T	
	早くから	なるべく ばよい				
同室	32 36.0	37 41.6	17 19.1	2 2.2	1 1.1	89 100.0
異室	0	4 11.4	19 54.3	10 28.6	2 5.7	35 100.0
T	32 25.8	41 33.1	36 29.0	12 9.7	3 2.4	124 100.0

注) 初産 χ^2 値 P<0.05
経産 χ^2 値 P<0.05

(9) 妊娠中の意識

あなたは子ども好きですか（初産）

	非常に 好き	どちらかと いふと好き	どちらかといふ と好きでない	好きでない	T
同室	43 48.3	38 42.7	8 9.0	0	89 100.0
異室	8 22.9	15 42.9	9 25.7	3 8.6	35 100.0
T	51 41.1	53 42.7	17 13.7	3 2.4	124 100.0

注) 初産 χ^2 値 P<0.05
経産 χ^2 値 P<0.05

↓ 検索用テキスト OCR(光学的文書認識)ソフト使用 ↓

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

研究目的

昭和55年度に於て、母子同室制の実態調査を行い、昭和56年度は妊婦の意識調査、特に母子同室についてどのような意識をもっているのか調査した。初産経産別、東京と地方に分け、1,031例の回答について、クロス集計をとりながら調査した。

その結果母子同室を望む人は、初産でも経産でも東駅でも地方でも出産直後からわが子と一緒にいたいと希望する者が多く、子ども好きであり多少苦しくても自然分娩を望む者が多くみられた。

これに対して母子同室を余り希望しない、或は別室を望む人は、夫々20.9 29.2%は子どもは好きでないと答え、わが子とは入院中時々あればよいと回答し、その多くが無痛分娩を希望していた。

そこで本年度は、前年度調査した妊婦の意識が、出産を経験し、その後意識がどう変わったか、母子同室、異室によってどのような違いが出るか調査した。